

# 政和クラブが4つに分裂 正副委員長人事が焦点

## 政和クついに分裂

「分裂は時間の問題」といわれていた政和クラブが、15日ついに4会派に分裂しました。その結果、上越市議会は、10会派になりました。

【会派構成の推移は裏面にあります】

## 議会構成も変わる

9月議会の直前であり、議会運営にも支障をきたすことから、18日と21日に、各派代表者会議が開かれました。控室の分割、議席の変更、それに議会運営委員会や常任委員会、特別委員会、一部事務組合議員の配分などです。上越市議会は今まで、会派の人数に応じて配分してきましたから、分裂すれば当然、再配分されることになります。

山岸議長は、「常任委員会は、議案賛否の比率が反映するように構成してきましたので、移動していただきたい」と発言。毘風と創風クラブで調整することになりました。



メスグロヒヨウモン 6日 赤倉

## ポストの再配分

滝沢逸男議運委員長(創風クラブ)と永島義雄総務常任委員長(無所属)1人の処遇が問題です。これまではポストを会派の人数に応じて割り振り、人はその会派に任されてきました。これを踏襲すれば、辞職して再配分となります。私は次のように発言しました。

4月末に小林克美議員が政和クラブを離脱して無所属になった時は、「本来辞職すべきだが、5月の改選まで間もないので、特例としてそのままにする」ということだった。

当の小林議員は、「あの時は、辞職するつもりだった」と語りました。私は次のように続けました。

正副委員長の選任は、「互選」となっているのだから、委員の数だけ各会派に割り振り、その後委員会で互選する方法にすべきだ。

山岸議長から、「新システムは今後検討することとし、今回は従来のやり方で行きたい」との提案があり、皆さん「そうだ」というので、私も賛同しました。委員会でも互選された委員長ならば、一人会派でも辞職する必要はありませんが、「会派の人数に応じた割り振り」であれば、一人会派になれば当然辞職するしかありません。

裏面につづく

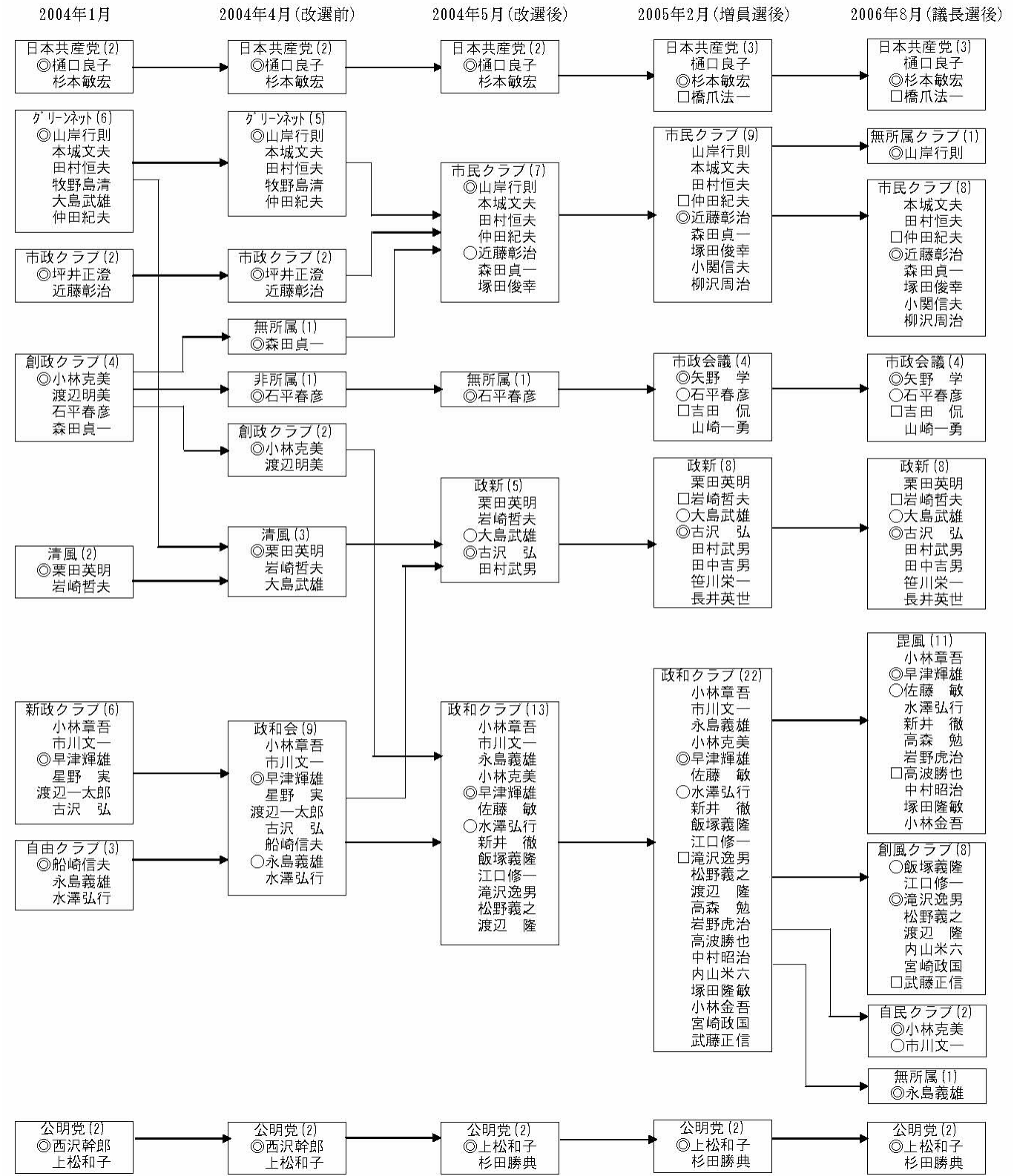
9月定例議会は  
9月1日(金)  
～9月29日(金)  
の予定です

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

## 市政レポート

2006年8月27日 114  
発行 杉本敏宏事務所  
上越市東本町5丁目1番38号  
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832

# 最近の会派構成の推移



## 委員長の?

21日も多くの会派から辞職を求める発言があり、滝沢議員は、「検討する」旨の意思表示をしました。

永島議員は、「不祥事を起こしたわけでもないのに辞職するつもりはない」「2年間の任期をまっとうしたい」という態度です。

本当に「不祥事を起こしていない」といえますか。

単に委員長の人事ということではなく、議会のあり方を再検討する必要があるのではないのでしょうか。